

翔

第11号 (平成7年10月1日)



山原昌娃きもの着付学院

優秀賞



優秀賞 ウィンクチーム

二位



第2位 花凜チーム



第七回 初春創作帯結び装いコンテスト

平成七年一月二十二日

● 加賀屋『花吹雪』にて

帯結びコンテスト
入賞チームのひと言

優秀賞 ウィンク

「愛……ほのかに」

「発表いたします。優秀賞、ウィンクチーム「え?!」私達チームの皆の目が点のようになり、後は自然に熱いものがこみあげ、涙で周囲がおぼろげになるばかり…。着付を始めて九年、十年組の私達は、何といても今では占参チーム。毎年帯結びコン

三位



第3位 月下美人&'95チーム

翔賞



翔賞 ふれんずチーム

アイデア賞



アイデア賞 しあわせチーム

帯結びコンテスト出場者

- * 花凜「あさき夢見し」
坂本さゆり・畑中 芳子・勝木 順子・勝木 智子・垣地八重子
- * 春よこい「春の装い」
小倉 敬子・穂田 フミ・原田 美香・金田 真紀
- * みやこわすれ「天女の羽衣」
石川 勝子・森 みどり・伊豆奈緒美・佐藤 陽子
- * 月下美人&'95「おしどり」
嶋田 涼子・平田 佳子・坂本 光代・谷 由美子
- * ふれんず「雪どけ」
藤田 郁子・表 慶子・新谷 節子・西 春美・中西美津代
- * 現代「昭和の春」
八十田静子・市塚 桂子・春本 芳子・八十田喜代美
- * カサブランカ「結(ゆい)」
高田美智子・村本 隆子・大場 啓子・中谷ふじ子
- * フェニックス「希望」
岡田はなみ・南 佳子・音 みちえ・木村久美子
- * ときめき「せせらぎ」
清水 美枝・松田ひろみ・小崎真由美・鉢田 洋子・浅井美智子
- * クレーンズ「かがやき」
吉川志津江・伊藤 弘子・藤巻 洋子・畑 美智子・兵部 和美
- * しあわせ「早春」
大塚 勝恵・高畑 紀子・松田 浩美
- * クレーンズ「初 舞」
椎木 智春・穴倉英美代・瀬戸 房江・角田さち子
- * 吉川志津江・伊藤 弘子・藤巻 洋子・畑 美智子・兵部 和美
- * 大塚 勝恵・高畑 紀子・松田 浩美
- * 風「春一番」
橋 美代子・沢井 和代・角田伊規子・鍛治恵美子
- * ウィンク「愛……ほのかに」
左近 清美・清水 澄子・小沢 和代・神野 律子・藪田由紀子
- * プリンセス「春の芽生え」
西谷 洋子・水上 美枝・田畑三恵子
- * 草山 令子・三崎 紀恵・安田 寿子・河原美佐恵・中野 清子
- * 香沙舞蘭花「彩」
福田三美江・草 真由美・野村喜美子・近藤智代美・増 千恵美
- * 浜中由紀子・近藤 光彩
- * 杜の精「しだれ桜」
高橋 美帆・高橋美恵子・高木美智枝・上杉 小織

テストが近くなると、「どうする？古い者が今さら出て……」といった思案顔で集まります。

年月がたてば個々の差も出て来て当然で、教える立場の者、着せる立場の者、趣味として楽しむ者、様々です。

今回の「愛：はのかに」では、まずお互いのイメージを大事にしようということで制作にかかりました。全員が一致したのは虚飾を廃して、帯結びの原点に戻ろうということでした。

「シンプルイズ、ベスト」という言葉がありますように、誰が見ても結びやすく、しかも若い人向きにイキで……を旨とし、試行錯誤の上、発表作品に相成りました。

回想



七尾市教育長
宮田 一男

昭和四年に入学した私は、まさに昭和ひと桁の子である。遠い記憶で定かでないが、母に連れられてオドオドしながら小学校の門をくぐった。そして、前日に貼られた名札の席に、神妙な顔で腰かけていた。教室の後方や窓ぎわには、大勢の母親が立ち並び、子ども達の動静を心配げに見守っていた。

当時は学生服のハシリで、男子四十九人中、まだ四十四人がきもの姿であった。私も母が仕立てた新しい木綿の緋を着せて

二位 花 凜

「あさき夢見し」

第二位「花凜」と呼ばれた瞬間、信じられないという表情で目を丸くし、それでもうれしさを隠しきれず皆で抱き合いました。

立て矢が基本となる簡単な帯結びではありましたが、幾重にも扇のように広がるひだの部分で結ぶ事に様々に趣が変わるのです。全体のバランスを整えるには至難の技でした。

一つ一つに想いをこめて折り上げたひだの中には、はかなくそしてせつない恋心が。ストレリチアの一枚一枚の葉からは、けなげでそれでもひたむきな女性の心情を表現してみました。

もらって登校した。出がけに母は、三廻しても余った黒帯を何度も巻き直して、きつく結んでくれた。

小心者の私は、先生を待っているうちにだんだん不安がつつのり、そっと後を振り返り向いて母の存在を確かめた。はたちの年に私を産んだ母はともも若々しく、人垣の中に静かに微笑んでいるのを見つけ、ホッとする。

祖母にもらった一張羅を着ていたが、貧乏な母には、それが精一杯の晴れ着であったに違いない。縦縞の銘仙が小柄な体によく似合い、控え目な帯が調和して素敵な母に見えた。

袴姿の担任は子ども好きで、明るく優しい先生だった。少し胸高に着こなされたサージの濃紺が、今でも不思議に脳裏に浮かぶ。歩

三位 月下美人&'95

「おしどり」

今回は、何か具体的なテーマを作品にしてみたいと言う考えから「鳥」に挑戦しました。

鳥の胸の膨らみから羽根の流れを出すのにかなり苦労しました。細かい作業で作ったタックがうまく行かず、一本一本に気を使い丁寧に作りました。

「おしどり」にはなかなか見えず、思わず「にわとり？」との声もあり、半ば参加することに意義がありがたな気持ちになっていましたところ、第三位との事、苦勞が報われました。

かれると足もとの草履と白足袋が見え隠れして、清楚な女教師らしさを感じさせていた。

学校に慣れてきた私たちは、着崩れや帯の解けることも忘れ、元気に鬼ゴッコや組打ち遊びに興じていた。ときおり先生がしがみ込まれて、きものの乱れを正された。遊びを中断した私たちは、それを取り囲んで、優しい手さばきを見つめていた。

卒業記念の写真を調べると、六年間に男子の殆どが学生服になり、きものを着ている者は四人いた。また女子三十八人中、洋服姿が八人であり、とりどりの和服姿である。残念ながら白黒なので彩りについては分からない。

六十年前の衣服について述べたが、豊かな現代っ子は到底理解できない話であろう。山原先生との出会いがあり、学

翔 賞 ふれんず

「雪どけ」

春をテーマにいただき、皆で考え、悩みま



院のイベントに招かれるようになってから、少しはきもの文化を知るようになった。日野西資孝の日本服飾史や山下悦子のきもの歳時記等にも眼を通した。今まで全く無関心で、別の世界にいた自分が恥ずかしくてならない。

ご熱心な学院の方々に敬意を表するとともに、山原先生のような、きものが体にふんわりなじむ女性を目指され、できるだけ数多く着こなして、体が覚えきるまでの域に上達されるよう望みたい。

先生のきもの姿が美しいのは、どこにも無理がなく、ごく自然でとてもラクそうなのに、全体的にはシャントした締めまりがあり、プロの情熱や教養が、きものを通して、ほのかに垣間見られるからであると結論づけた。

アイディア賞 しあわせ

「早春」

早春の暖かい日差しの中に、蝶が今にも飛び立ちそう……。そんなイメージを帯結びに表現してみました。

創作帯結びに挑戦するのは、初めての私達でしたので大変思案しました。

初参加だったのに賞を頂き、大変感激しました。良い経験が出来、チーム一同、チーム名のような幸せな気分になりました。

「装いコンテスト出場者」

- | | |
|--------|--------|
| ◎川村 静代 | 林 光子 |
| ◎野崎真穂美 | 藤沢千恵子 |
| ◎中村 洋子 | 松下 孝子 |
| ◎浜野 久恵 | 田辺 純子 |
| ◎吉村 敏子 | 糸屋紅仁子 |
| ◎西谷 文枝 | 林 はるみ |
| ◎鈴木 咲織 | 今井 公子 |
| ◎亀野千香子 | 辻 真由美 |
| ◎平野いずみ | 坪田 妹子 |
| ◎酒井智佳子 | ◎村口 恭子 |
| ◎並吉紀美子 | ◎竹田 朝美 |
| ◎森田 利恵 | ◎福田 公枝 |
| ◎船塚満智子 | ◎小川 悦子 |
| ◎檜 千鶴子 | ◎竹腰 順子 |
| ◎条 智恵 | ◎鳥越 美雪 |
| ◎田口 智恵 | ◎国納 春美 |
| ◎天崎アキヨ | ◎谷 恵理 |
| ◎藤井 忍 | ◎横浜いづみ |
| ◎木島ゆかり | ◎山崎 裕子 |
| ◎原田由美子 | ◎印は入賞者 |



お客様と半巾帯結び

ファッションショー

月12日 能登食祭市場



平成七年二月八日～十二日まで『能登国際テント村'94冬編・シーフードピア七尾』が開幕され、
 “能登の味とにぎわいをいっばいに”と食祭市場は楽しさあふれる催しで盛り上がりました。そのなかで十二日、恒例になった山原昌娃きもの着付学院に依る着物ショー「如月きものファッションショー」が行われました。

『テーマ「半巾帯」鹿島町・鳥屋町繊維部会からいただいた布地を使って、今年は半巾帯を六十本仕上げました。また、今回初めて男性モデル八名が加わり、舞台が一段と活気づきました。

第一部は、半巾帯二本・三本を使って振りそで・おしやれ着・小紋・カジュアルを着ました。

第二部は、お客様との半巾による帯結び指導とその帯を差し上げるコーナー。

第三部は、男性の着物ショーと実技。

第四部は、創作帯結びを見ていただきました。

総員百余名。モデルさんの彼を応援のため、フロアの隅で見ていた彼女のうれしそうな顔が忘れられません。

火曜日) 北 陸 中 日 新 聞 掲 載

半幅帯を使って行われた着物ファッションショー＝七尾市の能登食祭市場で



半幅帯使い気軽にオシャレを

能登国際テント村冬編・シーフードピア七尾のメイン行事「如月(きさらぎ)着物ファッションショー」が十二日、七尾市の能登食祭市場で開かれた。

浴衣帯に使う「半幅帯」で遊ぶのがテーマ。同市の山原昌娃きもの着付学院の生徒ら五十二人がモデルとなつて出演した。半幅帯は、学院生たちが地元産のスポーツウエアなどの生地で作上げた。スカーフをあしらうなど、遊び心を出した帯結びが次々と披露され、観客たちの目を惹きました。

見学者が飛び入りでちょろ結びを体験する公開授業や、初の男性モデルによるショーなども行われた。

着物ショー

七尾

H7.2.14 北陸中日新聞掲載

夢と感動

春木 昭樹

私共の商いの心は、着物を着ていただく事で、女性をより美しく、より楽しく、より幸せにする事です。

着物を通じて、夢と感動を得ていただきたいと願っています。商品を売るだけではなく、その商品を通じて、和のライフスタイルや文化、また伝統のしきたりや作法を、正しく伝えられる店でありたいと心掛けております。

その為に、こうした着物を着る喜びと、着て感動する為の場を創って行きたいと思っておりますが、今回、山原学院に依る着物ショーに参加して、当日観客からの溜め息や感動と満足感に輝いた皆様の顔々、半年を経た今でも鮮明に思い出します。素晴らしい体験でした。ありがとうございます。



男性モデル初参加

きざらぎ 如月きものフェア

平成7年2

日本男児ここにあり

（社）七尾青年会議所理事長 野見 俊彦

「理事長、着物のモデルになって下さい」とメンバーの一人から声をかけられた時、顔はこまった表情をしましたが、心の中ではニヤッと微笑んでいた私でした。そうです。能登国際テント村'94冬編山原昌娃きもの着付学院主催による「如月きものファッションショー」に出演することになったのです。なにしろ冬編の中でも人気の高い催し物ですので、光栄の極みでした。

私は紋付はかまの日本男児の正装を授けて頂き、心身ともに引き締まる思いで振る舞いました。拍手を耳で聞きながら、やはり着物はいいなと感じ、悦に入っていた自分ですが、今度これを着る時は娘の結婚式かと考えると、ふとさびしさがよぎっていきました。まあ何はともあれ、自分が日本人であることを確認出来た良い一日でした。

舞台上袴をつけました

七尾指導員

鍛田 慎治

習い始めて約一ヶ月後に着物ショーがあると聞き、いきなりで不安しかなかった。けどだんだん着付を覚えてくると、不安より自分で着れるようになったという嬉しさの方が先に走って、ショーのことは半分しか頭になかった。でも、いざショーで自分の番が迫ってくると、やっぱり緊張し、不安がまたやって来た。正直言って、舞台の上の自分は覚えていないけど、または是非出てみたいと思う。なかなか男の人が着物を着ることは無いけど、自分で着ることが出来たら、もっと気軽に着れて身近に感じてもらえると思う。

「能登国際テント村」の目指すもの



七尾マリンシティ推進協議会

副会長 田尻 正志

当協議会の大きな事業の一つに、「能登国際テント村」があります。

平成元年に始められたこのイベントが、他のイベントとは大きく異なる点があります。と言うのは、この事業は単なるお祭り騒ぎではなく、将来の七尾像をイメージした、街づくりの提案・実験イベントだと言うことです。

皆さんに思い起こして頂きたいのですが、平成元年・二年に開催されたテント村は、七尾の歴史的背景と自然のロケーションを基に、新たな時代に向けての具現化の第一歩として「七尾フィッシューマンズワーフ」の早期実現を市民に体感・理解して頂くための実験イベントであり、また市民からの問題を提起いただく、批判装置でもありました。ですから、「能登食祭市場」建設においては、各所

にこの事業の成果が盛り込まれているのです。また、このイベントの開催により、様々な形・立場で参加・協力された人達が勢揃いしています。そこには、自分たちの街は自らの手で……と言われるように、自助の精神形成や、郷土に愛着と誇りを持ちえる街づくり運動の推進役、つまり「人づくり」が根底にあるのです。「豊かで明るい街づくり」と言うゴールのない運動ですが、より多くの市民がこの運動に携わり、世界に誇れる小さな国際都市を目指し、今後も皆さんと共に、手と手を取り合って歩んで行きたいと思っています。



振りそでの半巾帯結びいろいろ

初夏の風……

皐月きものファッションショー



平成七年五月四・五日の二日間にわたって、能登国際テント村'95春編「眠らない港町ななお」2001分の市民の物語と題して、多彩な催しが開催されました。

天候に恵まれたさわやかな日、食祭市場特設舞台で四日、山原昌娃きもの着付学院による「初夏の風……五月きものショー」が催されました。

一般市民の皆さんに参加していただき、男性の浴衣の着付の実演、七五三参りではお母さんに手を引かれた可愛いお子さんの着物姿は、とても微笑ましい限りでした。

又、結婚式の披露宴を模擬した場面では、花嫁・花婿はドレスとタキシード姿に身を包み、可愛い女の子は上手にドレスの裾持ちの役を演じていました。

七尾短大生も男女共に参加していただき、皆んなで創り上げる型のショーとなりました。沢山の観客からの拍手も浴び、舞台・観客が一体となって賑わいました。

夜の部の洋服のファッションショーには、「ニューきもの」で出場しました。



着物ショーに出場して

七尾市桜町 島崎 和子

突然、娘を着物のモデルにと声がかかり、それは嬉しい事と思ったのもつかの間、私まで出場することになり不安で一杯でした。が、何とか役目を果たすことが出来て、本当に良かったと思っています。

日頃、着物を着る機会もなく、宝の持ちぐされとばかりいたりもしていたのですが、こんなステキなショーにモデルとして出ることが出来、今では親子共にとても良い思い出が出来たと喜んでます。

お世話して下さいました方々、本当にありがとうございました。



市民参加型の イベントを目指して



能登国際テント村'95春編
春編ファッショ
ンショー部会事務局
東 昇一

能登国際テント村'95春編は、『眠らない港町なな』をテーマに、2001分間の連続したイベントを実施し、私はファッションショー部会の事務局として、裏方でお手伝いさせていただいた。

ショーはパートI（昼）とパートII（夜）に分かれ、パートIは着物、パートIIは洋服をメインとしながら、ショーの中に両方のパフォーマンスをを取り入れるバリエーションに富んだ楽しい構成であった。

今回のショーで苦労したのは、参加型イベントをコンセプトにし、一般市民のモデルを募集することであった。当初はなかなか集まらず心配したが、最終的には、何とか予定人数をクリアすることができた。

当日は天候もまずまずで、デカ山の着物によるオープニング、浴衣、親子の三、ウェディングショーからエンディングまで、プロのモデルの特別出演もあり、非常に盛り上がった。

衣装合わせ、当日の着付、演出等、山原着付学院の方々には大変ご苦労をおかけしたが、出演した市民モデルの方から、良い思い出づくりができ、大変有意義だったというお話を聞くにつけ、市民がイベントをはじめとした「まちおこし」に、もっと積極的に参加する場が必要だと痛感した。



ニュー着物

金沢講師 北川 智子

ニュー着物ファッションショーに出演する機会に恵まれて、和服に対する数々の意外性を発見しました。更に、神秘的にかつ柔軟性を持って対応できる能力を試される時でもありました。

プロのモデルさんの指導によるショーでの歩き方、和服の小物は一切使用せず、イヤリング・ネックレス・履物はブーツにコーディネートし、個性をより効果的にアピールする雰囲気作りに努力しました。従来の固定的で観念的、つまりこうでなければならぬを、こうであってもいいのではないかという発想と創造力が未知なる世界への導きとなるのです。

和服を通じて人生も又、日々新たに情性に流されることなく、自ら挑戦する気構えを持ち続けたいと心致しました。



New fashion Life

夢・美のメッセージ

きもの・帯

宝石・貴金属・バッグ

贈答品

出会いを大切に—— 呉服・寝装品卸



織壽會

糸生株式会社

〒920 金沢市問屋町1-16
TEL (0762) 37-8431

アルファ21コース

リラクゼーションを含め
8つのコースがあります 1,500円～

SLIMコース

3,000円～

フットケアコース

40分 2,800円
50分 3,800円



0762-80-1200 完全予約制

ケアハウス デライト 金沢市産6-12

織物の里を



白山紬

石川県津幡町

『つむぎ・蚕のまゆから
真綿にし、一本一本引き
だしてつくる素朴な織り、
白山紬の魅力』



つむぎの名は、手紬ぎされた糸で織られるところから名づけられたと言われている。その紬を探して私達取材班は緑がさわやかな五月、田植後の整然と列をなした水田を眺めながら車を走らせました。

白山紬織りとは、「石川県白峰村の白山工房、根上町白山織物、また桑島手織牛首紬」などがあるが、以上の紬は総して牛首紬であり、白山方面に織られているが白山紬ではない。しかし称して白山紬と言われていることも事実、正真正銘の白山紬はいったいどこに。

ありました津幡町に、何年も会わなかった旧友に会ったような喜びである。それも石川県に唯一、ヤマヨ株式会社津幡工場さんしかないとのこと。

当初は別の織物であったが、二十数年前に現在の社長さんが白山紬として手掛けてこられたとお伺いする。

【織物】

経玉糸、玉糸とは二匹の蚕（ピーナツ型の蚕）で糸を同時に出しながら紡ぐ。

経糸は同じだが緯糸が違ってふしがあるのが特徴。絹100%だが、堅いので精錬する。（先に、にかわを取る）

当工場では、白生地で織り上がったものを、別の機関に納め、精錬・生地模様・後染めの捺染や手書き友禅加工をされた後商品化される。

出来上がった反物を見せていただきました。「着物は女の命」とまで言われるように、着物好きには一瞬目が輝く。他にヤール巾のものもあり、家紋入り風呂敷であざやかなサーモンピンク色に染められ、包帯紗などは慶弔用としてリバーシブルに製作されている。

皇室献進卓布として製作された歴史もあり、とても重みを感じました。着物は肌ざわり良く、ふしが少なく、大島紬に似た感触で、これからの世代色々な方面で着られ、愛される着物ではないでしょうか。

高級呉服 洋装 寝具 宝飾

福徳呉服店

羽咋市大町 ☎26-0258

総合印刷・結納品

ニシキ印刷

羽咋市大川町ヤ74-11

TEL (0767) 22-0020代

FAX (0767) 22-2185

羽咋市島出町ワ49-1

TEL (0767) 22-5750(夜間)

ロータスクラブ・各陸運局指定・民間車検工場

有限会社 扇自動車鹿西工場

能登部上 ☎72-2249・3565

夜間 ☎72-3744

各種防水工事設計施工

三浦コーキング

金沢市栗崎町4丁目1-29

TEL 0762 (38) 0709

和洋酒のご注文は...

リカーショップ

HORI

堀 酒店

七尾市郡町2の15

TEL 52-1527

男性「喪」のきものを考える



学院長 山原 昌娃

男性の弔事の服装について、気のついたことなど書いてみます。

弔問客の男性は、今ほとんど洋服（ブラックスーツ）になっていますので、喪主・遺族のきものに限って考えてみましょう。

まず通夜、そして葬儀となりますが、わかりにくいと言いますが、よくわからないのが通夜の喪主です。ややこしい通夜のきものは後にして、葬儀の方から入ります。

葬儀

弔事の正装は男性の場合、慶事と同様に五つ紋の黒羽・重と羽織、仙台平の縞の袴となります。この慶事（結婚式）の装いが弔事の悲しみの席にもそのまま着用するという点が、女性よりも男性のきものをややこしくしているように思えます。慶事のとときと弔事の服装は同じですが、扇子は弔事には持ちません。

羽咋市や鹿西町では、白黒のリボンに胸につけて弔の心を表します。（昔は喪主・遺族共に白装束を着ていました）

関西では羽織のひもと早履の鼻緒を黒にしています。七尾を含む近隣では喪主は白の

きもの、白装束になります。

葬儀の時のきものは地域によって、白装束又は黒紋付となりますが、付属品については、はっきりしていますのでまず迷うことはありません。

次に通夜の席の喪主をみてみましょう。

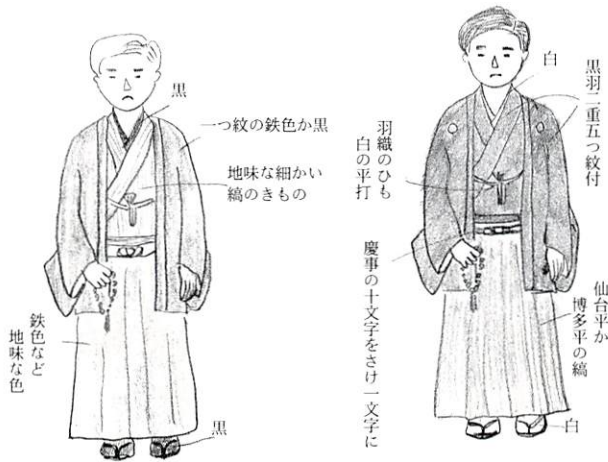
通夜

通夜といえは遺族や近親者など、故人と特に親しかった人達が、遺体との別れを惜しむものです。ですから、限られた人達の出席でしたが、いまま少し通夜のあり方が変わってきているように思えます。

通夜にも出席して葬儀にも出席する方。葬儀には仕事があったり出席できないから、通夜にのみ

表の中の略装（例1）の装い

表の中の正装（例1）の装い



例	きもの	羽織	袴	半衿	足袋	
1	黒羽二重五つ紋付	黒羽二重五つ紋付	仙台平か博多平の縞	白	白	
2	〃	〃	〃	〃	黒	
3	〃	〃	〃	グレー又は黒	〃	
4	〃	〃	〃	白	白	・白・黒の喪章を胸に ・白い花を胸に
5	〃	〃	着用せず	〃	〃	
略装	1 地味な細かい縞のきもの	一つ紋の鉄色か黒	鉄色などの地味な色	グレー紺	黒	
2	地味なきもの（普段着）	黒羽二重五つ紋付	〃	〃	〃	

通夜の喪主（男性）の装い

ただくという方。通夜といっても大勢の方々がおいりされます。この通夜の席で喪主は何を着るか。

黒の正装又は略装になりますが、ここに私達が難しいと思っていることは、長襦袢の半衿の色と足袋の色についてです。

表にしてみるとわかるように、正装の黒紋付を着ていても地域によって、半衿と足袋の色が違ってきます。

略装の場合は普段着を着て、黒紋付の羽織を着る訳ですから、グレー・紺の半衿に黒の足袋と言うのはよくわかります。

なぜ、細かいことを気にしているかと言いますと、通夜のお手伝いに行つたとき、白の足袋と黒の足袋を出されて、どちらを履いたら良いかと、よく聞かれます。

ある美容院さんは「白の半衿で白の足袋を」と言われます。慶事と同じです。

佐味町・万行町では白の半衿で黒の足袋。

能都町では黒の半衿に黒の足袋です。

呉服店さんにお聞きしましたら「通夜に履く足袋を買いにこれらるけれど、よくわからないから、黒と白の二足持っていてもらいます」とのこと。

通夜と言えは悲しみのどん底にいる訳ですから、着るものなどにかまっていられないのも事実です。しかし家の者が、きもの一式、半衿・足袋を用意しなければならぬのも事実です。何でも良いとは言うものの、何でも良いから、かえってよくわからないのだと思います。

結論として、通夜に黒紋付を着た場合、グレーか黒の半衿に白足袋が良いように思います。しかし、一番大事なことは、その土地（地域）に合わせるということです。う。その土地・土地によって風習が違いますから。

私達がきもの着付を頼まれたとき、または進んで着付を手伝うとき、その村の長老の方や周りのお年寄りの方にお聞きする、おたずねして着付をするということです。故人を忍び、心をこめてお手伝いさせていただきます。

ワンポイント

女性の喪服について

喪服の正装は黒羽二重の五つ紋付き、黒帯、黒の帯揚げ、帯と黒一色です。長襦袢は白紋縮子、半衿は白、足袋も白です。

略装は、色無地に黒の帯。女性は慶事の場合でも、半衿も足袋も白。男性よりもわかりやすいです。

七尾の隣り氷見市では、遺族の娘さんは黒の振袖（中振）を着て、袋帯を結ぶとのこと。地域によって違うということがよくわかります。喪服を着付ける時、注意してほしいことは、

- 一、衿をぬかない
 - 二、着物の丈も短め
 - 三、お太鼓は低めで小さく
- お化粧も半化粧と言われます。完全に仕上がりがない、半化粧です。

資格取得者一覧

準師範

吉田 利子

鹿島郡鹿西町徳丸ワ部一三



何の取り柄もない私が、着付の道に入ってからここまでこれたのも、山原先生始め諸先生方のお陰と感謝致しております。そして、私と共に勉強して下さる同志の方達と初心を忘れず、自分を見詰め、その日々に感謝し、限らない着付の道を歩いて行きたいと思っています。

河原 佐代子

七尾市矢田町ク部五



この度は準師範と言う、身にあまり資格を頂き、又色々とお指導を賜り、山原先生には心より感謝申し上げます。不器用で不勉強な私が、継続の大切さを知ることが出来、今後は少しでも技術向上のため、努力を続けようと思いを新たに致しました。

尾谷 幸子

金沢市大桑町平四二二一九
市営住宅二二棟一〇二号



講師となり、人に教える難しさを知り、教えながら自分も学ぶ、そんな一日一日を積み重ねてまいりました。そんな私に思いがけなく山原先生より準師範を頂くことになり、これからはますます勉強を重ね、精進して行きたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。

和田 二美子

羽咋市本町コ一八七



準師範の資格を頂き、大きな喜びと同時に大きなステップを踏み出してしまったようで、戸惑っております。「継続は力なり」この意味をかみしめ、着付を通して知り合えた皆様との出逢いを大切に、初心を忘れず、たえず前向きで頑張っていきたいと思っています。

田中 カフミ

羽咋市酒井町末の部八番地



未熟者の私に、準師範と言う大きな資格を頂き、大変うれしく身の引き締まる思いです。これも先生方や周りの皆様のお陰と感謝しております。これからも、一人でも多くの人達と、楽しく勉強をして行きたいと思っています。

講師

佐藤 陽子

七尾市府中町七番地



着付を頼まれ、着物を着せてあげた後、「案だったよ」「着崩れしなかったよ」と言われた時感激で胸が一杯、着付を習って良かったと思った瞬間です。今、講師の資格を頂きましたがまだ未熟者。これからはがんばります。

春本 芳子

鹿島郡鹿西町金丸



自分で着物を着られるようになりたいと思い、着付教室に通信し始めました。着物を着る事や着せて上げる事の難しさを知り一層学ぶとともに、沢山の人のために広めて行きたいと思っています。

伊藤 弘子

鹿島郡田鶴浜町字田鶴浜
二部二一七五番地



講師資格を頂き、身の引き締まる思いです。着付とともに自分自身にも磨きをかけ、少しでも藤沢先生のお手伝いが出来たらと思っています。先生方、本当にありがとうございます。お礼申し上げます。

藤巻 洋子

鹿島郡田鶴浜町字高田オ部一三
自分で奇麗に着物を着たい。



そして欲を言えば娘の成人式に自分の手で振り袖を着せてあげたいとの思いで、習い始めました。これからも初心忘れず、着付を通じて出会った人達との和を大切に、頑張っていきたいと思っています。

藤高 法子

金沢市有松三丁目二二二二



着物を着る機会の多い三千代今資格を取ってとても良かったと思います。子供が生まれ、二年間にもわたってしまった講師受験、先生方の協力、家族の協力があったからこ

皆様に心の豊かさ、生活の楽しさを贈る

ニューライフデパート



橋 詰

羽咋市島出町

TEL 22-1124(代)

FAX 22-1125

ヘアスタイルで悩んでいるあなたへ…
YOUはインターナショナルな感覚であなたをイメージアップ!!

ビューティ・パッションユウ



七尾市相生町61番

御予約・お問い合わせは フリーダイヤル 0120-006030

加賀友禪
横山工房

代表者 横山 秀一

〒929-03 石川県河北郡津幡町川尻レ63-11

☎ (0762)88-6141



そ出来た事だと思っています。ありがとうございます。

高僧尚恵

七尾市矢田町四号一四〇番地



「自分で着物が着たい」「こんな気持ちから着付を習い始め、今日講師の資格を頂く事が出来ました。本当にありがとうございます。これからも先生のご指導を仰ぎ、励みたいと思います。」

八野田 美智子

羽咋市大町エ部五八番地



二十代に着付を習い、二十年間ブランクがあり、このたび講師の資格を得ることが出来ました。このたびは先生方のおかげだと思っております。先生方のお陰だと思っております。これからも着付を生きる喜びとして、前向きに頑張りたいと思います。

市塚 桂子

羽咋市酒井町う部五六番地



ありがとうございます。先生方に感謝致します。私を講師資格取得までに導き下さった御恩を一生忘れません。今は感謝の気持ちで一杯です。友と共に前後遅くまでの練習、先生方の良き御指導を大切に頑張ります。

吉川 美也子

鹿島郡田鶴浜町に部三七番地



着物好きな母親の影響が私も大好きで、自分で着付が出来たらと思ひ習い始め、素敵な先生・仲間の皆さんのご指導のおかげと家族の協力に感謝しながら、これからも勉強していきたいと思ひ、今後ともよろしくお願い致します。

兵部 和美

鹿島郡田鶴浜町新屋チ部八二一三



講師の試験に合格出来たのも、山原先生始め、諸先生方、良き仲間へ恵まれたお陰だと思っております。本当にありがとうございます。これからも講師の名に恥じないように、これからも頑張りたいと思います。

赤坂 良子

鹿島郡田鶴浜町ヨ部五番地一



着物が一人で着られたら、又娘に着せたいという思いから教室に入り、良き師、良き友に恵まれ、講師の資格を頂く事になりました。これからも、日本の文化であり、感謝で一杯、機会ある毎に着たいもの。

中村 真里子

鹿島郡田鶴浜町ワ部三四番地



着付教室に通い始めた頃、先輩方が鏡なしで素早く奇麗に着物を着ているのを見て、感激していた私も、講師の資格を頂くことが出来ました。やさしく御指導して頂いた先生方に感謝し、これからも頑張りたいと思います。

神保 幸子

河北郡高松町字高松



動機は単純で、着物が着られ着せられるように始めた着付。諸先生方の熱心な御指導により、お陰でここまでたどりつくことが出来ました。今後とも初心を忘れず、多くの友達に着物の良さを伝え、頑張りたいと思ひます。

紺谷 春美

河北郡高松町字高松



この度、講師の資格を得ることが出来、大変嬉しく思います。着付を習い始めた頃は、自分がかみで続けられるとは思ひませんでした。これも、先生方の温かい御指導と感謝し、これからも頑張りたいと思ひます。

野嶋 由紀子

羽咋市柳田町



講師の資格を得ることが出来、本当にうれしく思います。「自分で着物が着たい」と思ひ、習い始めた着付。資格を得た今、先生方や同期生のお陰だと思ひ、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも努力し、頑張ります。

木村 久美子

羽咋市太田町一八



自分で着物が着れたら良いなと思ひ、習い始めましたが、山原先生、諸先生方の熱心な御指導のおかげで資格を得る事が出来ました。本当にありがとうございます。また着付を通して出会えた方々にも、感謝の気持ちで一杯です。

岡島 美恵

鹿島郡鳥屋町一青



七月十四日、念願の合格通知が届きました。授与式で賞状を頂いた時の山原先生の笑顔がとても印象的で、これまでの日々を物語っているようでした。その恩に恥じないよう、これからが始めだと思ひ、頑張っていきたいと思ひます。

美・For・You

この ELEGANCE

か せん 俵 扇

金沢市本町2丁目19-12
TEL (0762) 63-3561(代)
FAX (0762) 63-9470

大型タクシーもどうぞ!!

羽咋タクシー

ブライダルカー（花嫁専用車）もあります

フリーダイヤル (無料) 0120-114177
デンワ (0767) 22-1141

林 一世

七尾市直津町カー九九



「美しく着物を着たい」と思い、教室に通い始めました。講師の資格を頂けるなんて、夢のようです。これも、一緒に勉強してきた教室の仲間や、先生方のご指導のおかげと感謝しています。今後も頑張っていきたいと思ひます。

英 繁子

金沢市大桑町平四二二九



二人の娘に振り袖を着せたいと始めましたが、だんだんおもしろさが増えてきて、ここまで来てしまいました。

今回の講師資格を一つのステップにして、勉強や練習に励んでいきたいと思っています。

二 木 千恵子

金沢市長田二丁目一七三



軽い気持ちで習っていた着付でしたが、講師の資格を頂くこととなり、自分にとって一つの区切りであり、自信ともなりました。まだまだ勉強不足の点多々あります。今を新たな出発点とし、今後も努力したいと思ひます。

小 高 久美子

金沢市鶴原町イ一七八



「着物が好きだから自分でも着たい」そんな気持ちから始めました。今回は、着れるように、着せられるようにと頑張ってきた自分へのごほうびのようで、大変うれいいます。まだまだ未熟ですけど、これからも努力してい

きます。

永 島 真樹子

金沢市大桑町平四二一三〇



以前ならば、浴衣でさえ人の手を借りなければ着る事の出来なかった私が、今では自分はもちろん周りの人達に着付をしてあげれるようになり、嬉しく思っています。講師の名に恥じないよう、これからも頑張ります。

小 林 イサ子

金沢市大桑町平四二一八



今まで学んできたことの総まとめとして、良い結果が得られたことを嬉しく思います。ここまで御指導下さった先生方にも感謝しております。これからも、何らかの形で着物に関わって勉強していこうと思っています。

畠 中 悦子

金沢市土清水二丁目二八七番地



着付に関しては、全く才能がないと感じながらも、ここまで頑張ることが出来ました。今は満足感と諸先生方への感謝の気持ちで一杯です。今後は、名前だけの資格にならぬよう、鋭意努力して行きたいと思っています。

岩 城 圭子

金沢市南森本町ワ一五六二



主人と結婚する前に、なんとか自分で着付てそろそろと歩いて見せよう、という不純な心で習い始めたのですが、パチが当たってすぐ結婚してしまいました。山原先生、

こんな私をここまで御指導いただき、ありがとうございます。

北 川 ゆき江

金沢市福久町ヘ一六三三



講師試験の直前、張り詰めた空気の中、山原先生の「大丈夫よ落ち着いて」の言葉は感激で、忘れる事はないと思います。そして教室の明るい仲間、協力してくれた家族に感謝します。今後も努力を重ね、頑張っていきたいと思ひます。

広 田 久仁子

金沢市乙丸町甲二〇三二



自分で着物が着たい、娘に着せたいの思いで始めましたが、簡単そうで奥深く、まだこれからですが、やさしくていいいに御指導頂いた諸先生方や良き仲間にも恵まれて資格まで頂き、自分でも驚いています。皆様に感謝しております。

神 田 橋 恵美子

金沢市神谷内町葵五八番地



手足の不調を気にしながら不安な気持ちで特訓に入りました。途中、先生の心強い口調が励みになり、やれるところまでやってみようの思いで……。今日、講師資格を頂き感謝しています。宝の持ちぐさにならぬよう生かしたいです。

武 生 政子

金沢市金市町二一三〇一四

やる程に奥が深く挫折しそうな時もありましたが、同期の方と励まし合い、熱心な先生のご指導のおかげで、ここまで辿り着く事が出来ました。資

作品展示所・工房見学

能登 大社焼 窯元

AM.9:00~PM.6:00

展 示 所/年中無休

工場見学/休日・祭日は休みます。

〒925 羽咋市寺家町テ41の1

☎0767(22)0622



心あたたまるとつきあいの店

東 芝



武蔵 デンキセンター

電化のアドバイザー

北川 知泰

金沢市東山3丁目6-6

TEL 52-4731(代)

FAX 52-4761



格の名に恥じないよう、更に多くの事を学び、努力を重ねて行きたいと思っています。

広瀬 敦子

河北郡津幡町南中条七号二〇



幼い頃から和服が好きで、せめて自分で着付が出来たらと思い、習い始めたのが二年前のこと。山原先生、諸先生方、仲間の方に支えられながら、ここまで来られたことに感謝の気持ちで一杯です。これからも精進してまいります。

長岡 千恵美

珠洲市上戸町南方ワ字四



着物のたたみ方でさえわからなかった私が、今では講師の資格を頂くことが出来、ひとえに山原先生はじめ諸先生方のお陰であると、心から感謝しております。着付の勉強を続けて、楽しみと努力を重ねて行きたいと思えます。

山本 由美子

金沢市小坂町北三三



和裁を続ける上でプラスにしたいと習い始めた着付が、講師資格を得るまでに至り、続ける事の大切さを感じています。今後とも先生方や仲間、家族の協力に感謝し、着物を通して多くの人と出会いたいと思います。

長澤 真由美

金沢市小坂町二四 ヘルメス二〇六号

妊娠を知った時は、やめようかと思ったのですが、山原先生の励ましとみなさんの協力のお陰様



で、講師の資格を頂くことができました。これからは、いつも前向きで自信を持って着付出来るように頑張りたいと思います。

中野 泉美

金沢市高柳町二二一六三



着こなせるように、美しく着せてあげられるように、一層努力したいと思います。

上木 さち子

金沢市尾山町二番一〇号



自分で着物が着られるようになりたいと、友達と二人で習い始めたのもつい昨日のようです。素晴らしい先生方と引張ってくれる仲間の皆さんとの出会いに感謝致しております。着付を通して自分自身を磨き、高めたいと思います。

尾西 ゆき子

金沢市小坂町八番二五号



先生方の温かいご指導と、良きお友達のお陰をもちまして、講師の資格を取る事が出来ました。本当にありがとうございます。もっと努力して行きたいと思えます。

上出 英子

金沢市桂町チー六二一六

第二の人生と思い、習い始めた着付。良い先生、良き仲間にも恵まれ、講師資格を取る事が出来、心から感謝しています。



今からは、一人でも多くの人に着物の良さを教えたいと努力したく、頑張りたいです。

音 みちえ

金沢市金石北四一七二二三



方、又良き仲間にも恵まれたお陰と深く感謝しております。今日からが始まり、ガンバルぞとの思いです。

南 佳子

金沢市泉が丘一八一三八



美しく気品があり、優しく時には力強さを感じられる和装奥の深さを実感し、日毎に着物に惹かれる自分を感じています。ようやく着物に手を触れることができました。今後、ますます着物に近づいていけたらと思います。

岡田 ほなみ

金沢市大桑町中尾山五二二



お茶会に自分で着物を着て行けるようにと始めた着付ですが、山原先生をはじめ、素晴らしい先生方、素敵なお仲間にも恵まれて来ました。色々新しい可能性にチャレンジしてみたいと思っています。

中村 香織

鹿島郡田鶴浜町伊久留

今の早直な気持ちはホッとしたと言うことです。

ARURU-DEUX

HAIR RESORT 柿木畠店

〒920

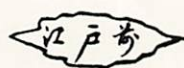
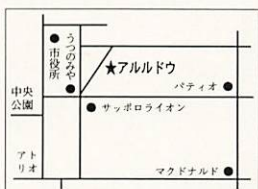
金沢市広坂1-5-7

TEL 0762-62-2788

FAX 0762-91-8875

定休日

毎週月曜、第3日曜日



(出前迅速)

割烹

雷寿し

七塚町松浜

☎ 85-2253

思い出に残る

赤ちゃん写真

¥12,700より

電話予約下さればスムーズに撮影できます。

前田写真館
PROPHOTO STUDIO

七尾市川淵通り松物町

TEL 七尾 52-0020



特訓の授業で他教室の方々と共に一生懸命学んだ時間も、合格通知を頂いた今では頑張ってきたと思っております。今後も自分自身の向上の為に励もうと思っております。

石川 勝子

七尾市川原町五八



自分で帯が結べたら、との思いから始めた着付けが、今日講師と言う資格までいただけたことになりました。ちょっぴり嬉しい先生と楽しい仲間。この人達を大切に、着付けを私のライフワークにして行きたいと思っております。

森 みどり

七尾市上府中町ス部四〇



着物の事は何も知らなかった私が、講師の資格を得ることが出来、喜びと同時にご指導して頂いた先生方に感謝の気持ち一杯です。その気持ちを忘れずに努力し、勉強していきたく思っております。

糸屋 紅仁子

鹿島郡鹿島町高畠ム一二六一一



講師を頂き、とてもうれしく思います。ここまで来られたのも、みんなの温かい真心があればこそと感謝しております。これからも着物を通して、私が成長できるように頑張りたいと思います。これからもよろしくお願ひします。

船塚 満智子

鹿島郡鹿島町井田八六一六四

人生への転換期を迎え、迷っていた時に入学。



今、講師資格を得、感慨無量です。不規則勤務状況の中、ここまで続けてこれたのも諸先生方の温かいご指導と良き仲間の陰と感謝しております。これからもよろしくお願ひいたします。

福田 公枝

鹿島郡田鶴浜町白浜六ノ二三



着物の奥ゆかしさに引かれ、自分も着られ、人にも着せてあげたいとの思いで教室へ。山原先生の親切な御指導のもと、良き仲間との出会いに感謝し、資格を頂き、感無量です。今後も着付けを通して勉強し、自分を高めて行けたらと思います。

小川 悦子

七尾市本府中町カ部一四一四



うれしい、一言です。着物が好きで、通い始めた着付け教室。仲間と先生方に励まされ、これまで頑張ることが出来ました。「やれば出来る」と言うことを強く感じています。数ヶ月、着物一色の毎日でした。

檜 淳子

鹿島郡鳥屋町末坂ソ部七七



自分で手に入れた着物を、自分で着られるようになればと始めた着付けでしたが、講師の資格を得ることが出来、大変感激で胸がいっぱいです。まだまだ勉強することがたくさんあります。御指導の程、よろしくお願ひ致します。

林 幸子

河北郡津幡町潟端三六七一一



全く着物を着る事を知らなかった私が、講師資格を頂きましたのは、山原先生、諸先生方の御指導の陰と感謝致します。今後も家族の協力に感謝し、より一層の努力で先生方をお手本に、魅力ある人間になれるよう頑張ります。

塩村 亜由美

金沢市大樋町一番三三



今、この講師資格を頂くことが出来、大変感激しています。私自身、何度も挫折しそうになりましたが、その度に教室での先生の言葉に励まされては、意欲がわき、ここまで来たとおもいます。今後、一層努力したいと思っております。

森田 利恵

鹿島郡鹿島町芹川四一一三



習い始めた頃を思い出すと、講師の資格を頂き、自分が教える立場にいる事が信じられませんでした。これも山原先生、諸先生方のご指導のおかげです。本当にありがとうございました。今後も初心を忘れず、向上して行きたいと思っております。

高松 美智子

鳳至郡門前町鹿磯一一六五



きれいに着付けが出来たと誉めてもらいたくての教室通いでした。今回晴れがましくも資格を得た上に、多くの頼もしい仲間をも得ました。先生の教えに従い、ますます練習に励んで行く決意です。ありがとうございました。

左官. タイル. 基礎工事

赤坂 左官

七尾市町屋町り部19 TEL 0767(57)2673

クロス. カーテン

インテリア 赤坂

七尾市町屋町り部19 TEL 0767(57)2673

貸ビル アパート

駐 車 場

羽咋市本町
☎ (0767) 22-1254

不動産貸代業 **和田**

センスアップで
着こなし美人♪

おしゃれストアー

みうら

鹿西町のとべ

TEL 0767-72-2241
FAX 0767-72-4055



授与式&講演会

平成七年七月二十三日
於 七尾パトリア



講演される日本現代作法会
会長の 篠田弥寿子先生

平成七年七月二十三日、七尾駅前のパトリア四階フォーラム七尾に於いて、山原昌雄先生の着付学院の「授与式&講演会」が行われました。指導員・講師・準師範の授与者一人ひとりに学院長が手渡され、恒例の新講師による模範演技が披露されました。

講演会は日本現代作法会会長・篠田弥寿子先生の「美しく輝いて生きるあなたへ」と題し、去年の阪神大震災の体験を加えながら講演が行われました。緊張の中にも今日の日を迎えた喜びが先生・授与者の心の中によりがえり、感動の波が会場いっぱいに溢れました。

私の中の篠田先生

上島佐洋子

初めてお会いしたのは何年前であつたかしら……と、授与式会場の受付に見えた先生にお会いしてふと、時が過ぎた。

あれは確か、何かの折の会食のお席であつた。優雅な中にフェミニンな雰囲気のある先生は、ルビーのように輝いていた。二度目は舞台でマナーの実技とお話による講演会、三回目が昨年の二日間の講演会である。

その時々によって、先生の雰囲気は違う。今回も大変楽しみであった。阪神大震災という未曾有の出来事、先生自ら体験されたお話をマナーを通してお話を下さった。そのような状況の中、いかに



準 師 範



新 講 師



指導員のみなさん

人の和が大事であるか、けじめが大切か、そしてきものがいかにマナーに適ったものであるか。今回は私達に人間として、人として、女として、そしてきものの着付という、古くて新しい課題に取り組む人達への提言であつた。

きものは和の文化であり、大和文化である。それはいつ頃から、どの部分に変化があり、現在に至っているか、との疑問を調べるなかで、きものを装うこと自体マナーであると話された。

裾・袖・帯の長さにより、動と静を表す。振袖姿のお嬢さんの長い袖は、動の動きを静に止める意味があるという。それによって姿勢を正し、作法を学ぶ。きものを装ううえで大切な扇子も、人と人が接するときのけじめのうえで大

切な役割を持っていることや使い方も教えていただいた。

人を引き付ける講師。それは輝かせてくれる人がいて、自らを磨いて輝くことである。先生が輝くときは、生徒も輝く。改めて思い知る言葉である。

今回の授与式で私は先生のお席の後に座した。先生は来賓の方々や、学院長のご挨拶に一言一言頷いておられた。一言一言にである。そして許状者に対しても、一人ひとりに拍手でお祝いをされていた。背筋をピンと張られたお姿とともに最後に言われた「きものを通して人様の為に尽くして下さい」の言葉は、山原学院長の私共への日頃の提言である。今度お会い出来るのはいつであらうか。



新講師による模範演技



講師合同練習風景



指導員資格試験会場にて

着付はいいおかし

氷見教室 浜畑 紫穂

着付と言えは堅苦しいイメージがありました。習ってみて考え方が変わりました。私は頭が良すぎるので、(笑い) 習い始めて約一年半程なのに、まだまだ初心者マークのような気分があります。着物には以前から興味がありました。日本ならではの古風な所に女らしい魅力を感じる面や、しおらしいさの中にも華やかさがあるところなど、奥深い趣きがあるところにひかれますね。

教室では、田中先生や塚原先生にやさしくご指導していただけるので、楽しく和やかな雰囲気です。片付けだけは一番早い私ですが、これから頑張りたいですね。

指導員資格取得者一覧

【平成七年四月】

永江博子	林田はるみ	坪田恵子	倉田恵美子	羽田美穂子	寺田美智代	長田美智代	谷田恵理	嶋越美雪	田嶋徳美	星野智子	若林恵子	沢井和代	大橋裕美子	前山真弓
石井美千子	鉾木咲織	亀井美樹	竹田正美	岡田昭子	黒川佳代	寺井節子	藤井忍	矢崎アキヨ	大門そよ美	川上真弓	玄聡美	大橋裕美子	前山真弓	濱畑紫穂
武元万里子	竹内智恵子	野崎真粧美	酒井智佳子	山本いづみ	古川静可	古川泰子	谷由美子	国納春美	田口智恵	竹腰順子	濱畑紫穂	前山真弓	濱畑紫穂	濱畑紫穂

家族への感謝

本校労働 石井美千子

仕事の帰りに労働の教室へ通いましたので、始まるまでに一時間もありません。一週間の練習不足を補うため、一人で汗をかきながら帯結びをしました。

若い仲間と交わって、帯結びのコツを一つ一つ覚えることが出来、充実感いっぱいでした。金曜日が待ちどおしく、一年たちました。楽しい一年間でした。指導員の資格を頂きましたが、家族の協力があつたからと感謝しております。

挑戦して一つ終わったら、また挑戦する姿勢で、これからの自分の好きな「きもの」に携わって行きたいと思えます。

三月二十六日（七尾サンライフプラザ）

「中日文化センター芸能発表会」に八十名が参加

発表会に参加して

武元万里子

山原着付学院に通い始めて半年目に、七尾サンライフプラザの大ホールでの発表会という、とても大きな舞台を与えられ、大丈夫かな……と、とても不安になりました。舞台で発表するのは、「二重太鼓の手結びを自分の背につける」でした。着物を着ることが楽しくなってきた頃で、「やってみよう」「楽しそう」と思えたのは、先生方の暖かい言葉と一緒に参加する友達のおかげだと思います。

当日は、いつも会ったことのない他教室の生徒さんと一緒に、他教室の生徒さん達がすぐ上手にステキに着物を着こなしているように見えました。そんな時でも、顔を見ては声をかけてくれ、着物の丈を直してもらったりしてくれた先生方のおかげでリラックスできました。

舞台の上では、山原先生の進行にそって順調に進み、ドキドキしながら帯を結んでいきました。舞台の袖で進行している山原先生の顔をチラチラ見ながら、間違っていないか、

自分だけ変になっていないか、確認しながら結んでいきました。全員が結び終わる、舞台の前の方へ……「みなさんステキに結べていますね」という、山原先生の言葉にホッとして、思わず笑顔になったのを覚えています。

その後は、モデルにでもなった気分です。舞台上を歩き、フィナーレ。緊張から解放され、みんな



労をねぎらい、先生方と一緒に写真を撮りました。この日の為に教室で、自宅で、何度も何度も練習をした甲斐がありました。

始めは浴衣を一人で着れば良いと思って通った着付教室。今となっては毎週一度の教室が楽しみになっています。これも温かい雰囲気を作ってくださっている先生方のおかげだと思っています。

まだまだ学ぶことが沢山あります。自分を磨くつもりで頑張っていこうと思います。

桜まつり

小林 美紀

四月十六日(日)さくらまつり。良いお天気に恵まれました。気持ちのよいよく晴れた日で、満開に咲き広がる小丸山公園で、すがすがしい一日をすごさせていただきました。

選挙演説を横目で気にしながらも、桜の木の下でおいしくお弁当をいただきながら、ステージがうまくいくようにと願いつつ、皆様とご一緒させていただき、談笑を楽しんでいるうちに、本番の時間が近づいてきました。ステージでは、名古屋帯を使い乙女太鼓、きんざ結び、等々変わり結びを楽し

みました。

山原先生の乙女太鼓の実技もあり、自分も客席でジックリ見たかったなあ、なんて頭の中で考えていたりして……。

何日も前準備に費やしましたが、皆様といっしょに創りあげる難しさ喜びを感じながら、有意義な一日を過ごすことができました。「無事おわってよかったね」と、言う声が聞こえる中、自分も「ああ、よかったな」と安心しながら、一泊研修の方へむかいました。



四月十六日（小丸山公園）

「桜まつり」今年は講師会が中心になって参加



教室だより

西谷洋子きもの着付教室

九月に入り、朝夕の風はめっきり秋の気配です。

七月二十二日、授与式&講演会の日は、資格を得られた方の喜びと熱気のせいか暑い日でした。今回の篠田弥寿子先生の講演は、「テーマ『美しく輝いて生きるあなたへ』」阪神大震災にあわれたにもかかわらず、明るく振る舞い、心打つ沢山のお話に感動しました。それは何事もプラス思考に考え、と人生の生き方が、良い方に変えられるとの事。お話の中でも出会いの事は同感するばかりでした。私も今思うと、着付を通して山原先生と出会いました。何かの御縁としか考えられませんか。着付を習いたい一心と、先生の教えの熱意にひかれ、セッセと門前から七尾へ通いました。今、教室があるのも山原先生の出会いがあったから

*総おどり

踊りの輪に入って

勝木 智子

七月十九日、私は心を弾ませて姉と浴衣を着て商工会議所へ行き、男の人に浴衣を着せる手伝いをした。窓から外を見ると空は薄暗く、川沿いに取り付けられた提灯が私の心のように明るく光り出した。踊りの輪に入って見渡すとすごい人の数。七尾まだらが響き、多く

らこそです。

小さいながらも、和気あいあいとしています。休む時もあります。生徒さんの習いたいという気持ちで伝わってきます。

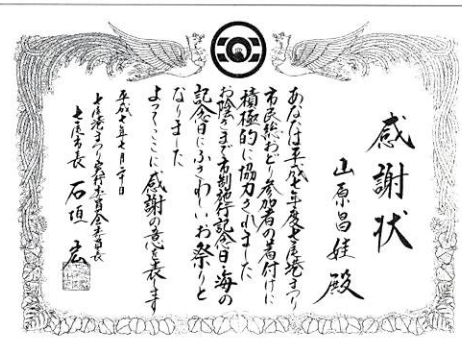
地元釧路婦人会の皆さんにも、着付を教えていましたところ、ふるさと門前まつりの「能登は門前寺の町出湯町」の踊り発表会とのゆかたの着付を頼まれ、生徒さんと共に着付しました。日本人である限り、着物は必ずついてきます。これからの地域の皆さんにも少しでも役にたてたらと思っています。



の人は踊りだす。心が一つになった気がした。

私は、この瞬間が大好きだ。踊り終わると、ふっと皆んな笑顔で話し出す。毎日、人と関わるが、こういう時間は少ない。踊りの輪に入ると人の和ができるというのは、すごく素敵だと思う。

私は、また来年のこの日を、この瞬間を楽しみにしています。総踊りに参加して良かったです。



総おどりの帯結びを、昨年からさせていたでいます。昨年は婦人センター一階にて男子の着付をしました。今年は労働会館と商工会議所の二ヶ所にて着付をしました。

左記の皆さんのボランティアをいただきました。

上島佐洋子・浅井美智子・浜中由紀子
由井 裕美・林 昭子・上川 加代
近畑 芳子・豊蔵 政子・小沢 和代
太田 光子・山原 昌娃・織田しずゑ
勝木 順子・勝木 智子・河原佐代子
小林 美紀・草 真由美・坂本さゆり
福田 公枝・林 一世

市長さんからの感謝状も戴きました。ありがとうございました。



平成七年

市民総おどり参加者名

山原 昌娃・久木満津美・上島佐洋子
宮島まり子・浜中由紀子・小林 美紀
今田 陽子・草 真由美・深浦 米子
北川まゆみ・池野 康子・谷 直子
河原佐代子・浅井美智子・林 昭子
由井 裕美・浦辺可代子・池田 孝子
久保みあき・勝木 順子・勝木 智子
上川 加代・太田 光子・赤坂 良子
伊藤 弘子・日下 梢・倉田 智子
中村 晴子・中村真理子・滝中きみ子
原 芳子・藤巻 洋子・兵部 和美
吉川美也子・藤沢 久江・三浦 一枝
吉田 利子・今井 公子・亀野千香子
松井 吉子・橋爪 美枝・中村かおり
高橋 美帆・高木美智枝・谷内 真美
平山由香里・川本美千子・伊豆奈緒美
森 千代子・小川 悦子・檜 淳子

行事予定

◎十月十五日十三時三十分からフォーラム七尾で、初めての「唄で綴るきものショー」が開催されます。フォーラム七尾開館記念事業として、市より依頼されての九十分ショーです。



編集後記

◎十月二十二日、七尾サンライフプラザにて、「ザ・シーサイドマンヨウ」が開催され、私達も参加します。

◎一月二十一日、恒例の初春帯結びコンテストは、加賀屋「飛鳥大ホール」にて。

今号より七尾市のフタバ印刷さんにお世話いただくことになりました。十一号でもあり、新しい気持ちで良い方向へ動きたいと思っています。小松のAポイントさんには、創刊号よりご指導いただき、七年間、大変お世話になりました。がとうございました。(山原)

編集委員

織田しずゑ 三浦 一枝
柏原登代美 水上 美枝
北原 峯子 堀井 紀子

※表紙写真は七尾市府中町の島木茂さん撮影。

島木さんは野鳥・高山植物等の撮影を得意とする街の写真家です。

翔 第十一号 平成七年十月一日発行
発行 全国きもの指導者協会認証校

山原昌娃きもの着付学院
〒926 七尾市藤橋町寅二六二一
TEL (076) 521-2625
FAX (076) 521-7556
編集 翔 編集委員会
責任者 山原昌娃
印刷 フタバ印刷株式会社
〒926 七尾市飯川町き部三三番地
TEL (076) 571-3100

—— こころの時代21世紀 ——

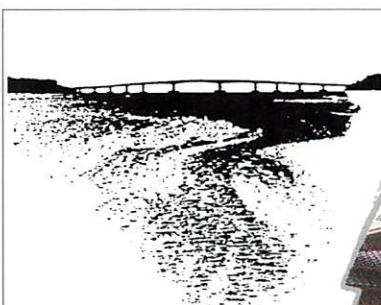
『やすらぎの和風感性を求めて……』

21世紀は、新しい創造とやすらぎの時代と言われています。しらず知らずに、
私達は、「やすらぎの和風生活」を求めているのです。

春直呉服店

七尾・中央通

☎53-0423



能登半島・和倉温泉
政府登録国療観光旅館(登録第1005号)

ホテル 海 望

〒926-01 石川県七尾市和倉温泉
☎(0767) 62-1515



和に集う、おもてなしの心



こころに語る
贅をつくして

柔らかな色調、広々とした空間
そして、能登のやさしさに包まれた
本物のやすらぎを——。
水と緑に囲まれた
さわやかな能登のくつろぎと、
新鮮な味覚をご堪能ください。

FUTABA PRINTING

印刷企画・電子編集
カラスキャナー

フタバ印刷 株式会社

七尾市飯川町き部-35 ☎(0767) 57-3100

FAX 57-1547